



T O K Y O  
ROPPONGI  
ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



# 東京六本木ロータリー・クラブ 創立五周年記念式典

2010年3月1日(月) 16:55～20:30  
グランドハイアット東京3F「ボールルーム」

## プログラム

### 第一部

16:55

開 会

17:00～18:00

記念講演「ロータリーの未来」

裏千家今日庵 大宗匠 千 玄室 様

### 第二部

18:10～18:50

記念式典

開会・点鐘

ロータリーソング

会長挨拶

ゲスト紹介

来賓挨拶

東京六本木ロータリー・クラブの誕生について

東京六本木ロータリー・クラブの活動報告

閉会・点鐘

### 第三部

19:00～20:30

祝 賀 会

☆スライドショー 『五年間の歩み』

☆「宴(うたげ)」による金管五重奏

☆お祝いの歌 聖心インターナショナルスクール合唱団  
西町インターナショナルスクール合唱団



## 謝 辞



### 特別代表 佐藤 晃一

あれから既に7年経とうかと思います。

六本木ヒルズにグランドハイアットという国際的なグレードのホテルが出来る、ついでに西RC、新南RC(現赤坂RC)、麻布RCの間隙を縫うようにして六本木に新クラブを作ってはどうか、という案が当時の東京西RCの50周年記念事業関係者の間から囁かれ始めました。

当時の西RC会長予定者は池田彰孝さん、50周年実行委員長は辰野克彦さん(現地区ガバナー・エレクト)です。お二人から私に特別代表を懇請され、浅田豊久さん(後に六本木RC移籍、前会長)を代表補佐という条件で引き受けました。

いちばんケアせねばならない点は、新鮮なクラブに相応しい会員をどのようにして集めるかでした。2年かけて西RC会員には優秀な会員候補者の紹介をお願いし、またコアになるメンバー、及び関係者は個人的なつてを辿って、先ずは40名弱の会員候補を獲得することが出来ました。

このような経過を辿って、奇しくもロータリー発祥100周年、スポンサー西RC創立50周年のよき年に六本木RCが生まれたわけであります。国際ロータリーでの加盟認証日が2004年12月8日という、我が国においては忘れることができない日にちであったのも、今では懐かしい思い出になりました。

あれから5年の月日はあっという間に経過し、今や六本木という地域にとって六本木RCの存在は無くしてはならない団体とまで言われるようになりました。これ全て、歴代会長並びに会員の皆さんの不断の努力があったからこそと心から敬意を表します。

今後長く続く六本木RCの未来に心から拍手を送ります。



### 会長 山中 祥弘

ロータリーの理想を掲げて創立し、おかげさまで5周年を迎えることが出来ました。スポンサークラブの東京西ロータリークラブのご指導ならびに国際ロータリーのご協力の下に、順調に推移することができ、感謝いたします。

創立以来、六本木ロータリークラブらしさを求めて、歴代会長を中心に活動を継承し、多くの皆様にも認めていただけるようになりました。また、奉仕活動は「水と緑を守る自然環境」と「子どもを育てる教育環境」について、地域社会および小中高校と協力し、着実に奉仕の輪が広がってまいりました。

周年行事は創立の精神を再認識する機会でもありますが、さらに、今日の政治・経済・社会の状況からみて、今こそ、ロータリーの「綱領」と「四つのテスト」が一段と輝きを増しているように思われます。今後も奉仕活動を通して、その精神が広く社会に伝播出来ればと思います。



### 記念事業実行委員長 荻田 吉夫

東京西RCの50周年を記念して、ここ六本木に誕生した東京六本木RCが、はや5周年を迎えました。まだ新米のクラブですが、こうして記念行事を迎えるとやはり良くここまで来たとの感慨を深くします。

発足当時から、最大の目標をみんなで楽しめるクラブにすることと定め、相互の親睦を深め合いながら、クラブのメインテーマと定めた環境問題に取り組み、また、ロータリー活動の根本である奉仕の精神を学び、実践することに努めてきました。そして今、私達一人一人がその方向に向かって着実な歩みを進めていると実感しています。そして

これから次の、少し大きなステップに向かって共に歩んでゆこうとの誓いを新たにしています。

私達を生み、育てて下さったスポンサークラブ、温かく支持ご協力下さった多くの仲間のクラブに心から感謝し、今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願いして、ご挨拶といたします。



## 記念講演「ロータリーの未来」

裏千家今日庵 大宗匠 千 玄室 様  
RI2650地区京都ロータリー・クラブ 裏千家前家元  
国際ロータリー日本財団会長

大正12年4月19日生。

同志社大学卒業後、ハワイ大学にて修学。昭和39年千利休居士15代家元を継承。裏千家今日庵主として宗室を襲名。平成14年12月、嫡男に家元を継承させ、千 玄室に改名。

国際的な広い視野で、茶道文化の浸透・発展と世界平和をはかり、世界62カ国を300回以上歴訪し、「一盃からピースフルネスを」を提唱。文部省社会教育審議会委

員、中央教育審議会委員等、多くの公職を歴任。平成17年外務省より日本・国連親善大使を委嘱される。

現在、ハワイ大学教授、財団法人日本国際連合協会会長、社団法人日本馬術連盟会長など、多くの公職、役職を持つ。



## 記念事業

### 「心の花も咲かせようプロジェクト」



地域の子供たちと一緒に草花を育てて、大人も子供も隔たりなく心の花も咲かせていきたい。

そのような思いから5周年記念プロジェクトとして『心の花も咲かせようプロジェクト』と題し、六本木通り沿いの街路に花壇を設置し地域の子供たちと一緒に花を育てていくことにしました。

第一回は2月15日 港区立筈小学校3年の皆さんが学校で育てた色とりどりのパンジーやデージーの花を会員と一緒に花壇に移植しました。当日は雨の寒い一日でしたが、まるで皆の気持ちが天に届いたかのように子供達が花を植えるその瞬間は雨があがりました。また、途中小雨が降り始めた時、会員が子供達にそっと傘をさしかけた、その光景はまさに『心の花』が開いた瞬間を見た思いでした。

今後は季節ごとに花の種を子供達に託し、多くの会員が子供たちと共に花壇の手入れなどを通じて交流を深め六本木の街と、その花を愛でる人の心にも花を咲かせていきたいと思えます。そして我々会員はこれを機に土に触れ、子供たちに触れ、未来に触れて、新しい価値観の創造にむけて力を結集してまいります。







クラブ創設の頃、私を含めて殆どの方がロータリーとは何かも知らず、シカゴで生まれた国際ロータリーの歴史と精神を学びながら、例会を積み重ねる中で、真っ白なキャンパスの上に私たちが思い描く、個性豊かな絵を描いていこうと訴えた1年間だった。5年経って、本当に素晴らしいクラブに成長しつつあることを皆さんと一緒に慶びと共に、ここまで東京六本木に相応しい絵を描き続け、歴史を積み上げてきた皆さんに、心からの感謝と敬意を送りたい。

初代会長 小竹 直隆



調印式



設立総会



7クラブ合同例会



水島 裕会長（故人）



基調講演・花木啓祐氏



パネルディスカッション



若林正俊環境大臣（当時）



チャリティパーティーゲスト工藤タ貴さん



ガバナー賞授賞

# 東京六本木ロータリー・クラブ 5年間のあゆみ



創立-2006年度

2009-2010年度

2006-2007年度

2008-2009年度

2007-2008年度

会長 水島 裕（故人）  
幹事 篠塚 博

会長 浅田 豊久  
幹事 齋藤 明子

会長 刈田 吉夫  
幹事 岡田 達雄

2006-2007年度（故水島会長年度）における一大イベントは2007年4月23日に創立2年目のクラブながら東京西ロータリークラブをはじめ山の手東グループの共催をいただいた「環境シンポジウム」の開催です。若林環境大臣をはじめ多くのゲストの皆様方をお迎えし、第一部は国際ロータリー強調事項「水保全」についてパネルディスカッションその後、工藤タ貴さんをお迎えしてのチャリティパーティが盛大にとりおこなわれたことを思い出します。

2006-2007年度 幹事 篠塚 博

小竹、水島会長の後を継ぎ、3代目で倒産ということにならないようお願いつつ、夢中で一年を過ごしました。春には初めての他クラブとの交流となる京都西南RCとの相互訪問を行いました。5月には水島裕前会長が急逝されるという悲しい出来事もありました。又、この年に、会員増強と共に各分野でバランスよく活動したことが認められてRI会長賞を頂いたことはクラブにとり大きな励みになりました。

2007年-2008年度 会長 刈田 吉夫

09年2月の2750地区大会が十年ぶりに Guam で開催されることでもあり、それまでの間金澤北RCへの訪問を兼ねた金澤文化へのアプローチ、新春夜間例会には特別ゲストとして一中節家元都一中さんの演奏会、更に4年前のクラブ創設時と重なった例会日には直木賞作家山本一力さんをゲストにお招きしました。

この日の卓話で開陳された新聞少年山本一力君への優しい心遣い「ロータリーの精神」を発揮した謎の人物像が当クラブ宇佐見さんの紹介で後日40年ぶりに氏とそのご家族が再会されるなどドラマチックな展開となりました。通常例会へは東京商工会議所の多くの副会頭が西RC会員としてお話戴き、また近い将来発展途上国へのアプローチをせねばならないテーマとして西RC鬼島さんから、また教育問題も小田与之彦日本青年会議所会頭、吉田晋日本私立高等学校連盟理事長へお願いすることができました。新型インフルエンザ発生騒ぎで上海森タワーへの海外職場訪問プログラムが延期になった事も今では思い出となりました。

2008年-2009年度 会長 浅田 豊久



六本木高等学校での地域研究



心の花も咲かせようプロジェクト



京都西南RC訪問



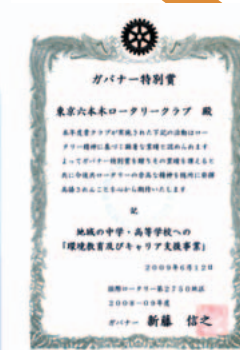
RI会長賞受賞



タイ・ミャンマー難民キャンプへの支援



UNHCRからの感謝状



ガバナー特別賞受賞



2007-2008年度クリスマス夜間例会  
（親睦委員会は、毎回趣向を凝らして夜間例会を演出しています）



六本木高等学校でのキャリア教育



六本木中学「六本木Hill'sエコ・ツアー」





東京六本木ロータリークラブ

T O K Y O  
R O P P O N G I  
R O T A R Y C L U B

## 奉仕活動

# 『地域への貢献と環境、人材育成』

東京六本木ロータリークラブは、「環境」と「地域への貢献」をキーワードに、六本木地域へ貢献する団体をめざしています。

特にここ数年は、積極的に会員の企業へインターンシップの生徒を受入れる他、地元の学校と協力して授業協力などの形で若い世代の「環境人材の育成」に力を注いでいます。

### ●六本木クリーンアップ作戦への参加

日本における最も国際的な都市、六本木がいつもクリエイティブで、活気があり、そしてきれいな街であって欲しいという思いから、六本木ヒルズ自治会が主催する「六本木クリーンアップ」に参加しています。

会員の参加は会の発足当時から現在まで継続しており、毎月第3土曜日の朝9時から、六本木交差点から東西南北のエリアを大掃除。表通りだけでなく裏通りまでくまなくクリーンアップしています。



六本木クリーンアップ作戦

### ●東京芝生応援団への入団

「東京芝生応援団」は、緑化・ヒートアイランド対策及び教育効果を上げることを目的とした、東京都が推進している「校庭緑化」事業を、広報面若しくは様々な観点で導入から育成、管理、活用までを含めて側面的に応援していくものです。この事業は、当クラブの目指す都市部の温暖化対策の推進に一致することから、ロータリークラブとしては一番最初に入団し、2008年11月の応援団発足式より「校庭緑化」を支援しています。



東京芝生応援団Webサイト

### ●インターンシップの受け入れ

ロータリークラブの特徴のひとつは、所属メンバーが多彩な職業分野に属していることです。

当クラブでは、これらの職業を通じて、仕事のやりがいや働く楽しさなどを、若い世代に実際に経験してもらうことを目的として、ロータリアンの経営する企業へのインターンシップを積極的に受入れています。2009-10年度には従来からの高校生の受入れに留まらず、地元の中学生にも世代を広げ、当クラブの「若い世代の育成」プログラムの柱として、継続事業としています。



インターンシップ受け入れ

### ●インターナショナルスクールへのキャリア支援

日本に数年間滞在する生徒達にとって、日本の経営・ビジネスの実態・現場に触れる機会は皆無といえます。本プロジェクトでは、インターナショナルスクールの生徒達をロータリアンが経営する日本企業の職場に招き、職場見学や職場の方々との意見交換により、日本のビジネスの一端に触れて、視野を広げてもらいます。また、この職場経験は、クラスに戻った生徒達のディスカッションを通じて、より多くの外国籍の生徒達に、日本への理解を深めてもらうきっかけとなっています。



インターナショナルスクール生徒の職場訪問



### 嬉しいお知らせ…

今晚インターナショナルスクールの合唱団が、私たちの五周年のお祝いに歌をプレゼントしていただきます。

祝賀会での彼女たちの歌声をどうぞお楽しみに…!!!



## ●東京都立六本木高等学校への奉仕活動

都立六本木高等学校は、都立高校で4番目のチャレンジスクールです。当クラブは、不登校経験者などこれまでの教育において自己の能力や適性を十分にいかしきれなかった生徒達に対し、ロータリークラブならではのキャリアを活かした様々な形での奉仕活動を行っています。

### ・キャリア支援

ロータリアンが、従事する仕事の内容、意義、充実感、達成感などの社会に出るにあたっての心構えや、実際にあったいい話、辛い話などを具体的に話し、生徒からの質疑にも応じる特別授業です。生徒達が興味のある職業を選択できるよう体育館で職業別にグループを作って進めたり、ロータリアンによる教室での講義など様々な形で行っています。生徒の中には、精神的な悩みなど人生そのものについて、その後も相談してくるものもあり、ロータリアンとの絆も深くなっています。



職業別グループでのキャリア相談会



「キャリア教育」の講義

### ・地域研究

同校の地元である六本木・麻布地域のクラブ関係者の協力により、同地域の文化・歴史・地区の発展について、講義、インタビュー、文献調査、実地調査などを中心にして進めていく特別授業です。地元出身の生徒達は大変興味深く自分の住んでいる街の話を聴き、当地域の素晴らしさを改めて実感したとの生徒達の感想を多く頂きました。若い生徒達の視野を広げることができ、口伝により伝えるべき地域の歴史があると実感しているプロジェクトです。



六本木地区の「地域研究」

## ●港区立六本木中学校への奉仕活動

六本木という大都会の中学に通う生徒達に、より身近なテーマから環境への意識をもってもらうような見学会や特別授業を行っています。

### ・スポーツマンシップとエコ

スポーツマンが綺麗な空気の中でスポーツすることの大切さを感じとり、それをどう環境保全に繋げ、行動するべきかを、地区の環境委員でもある岡田達雄氏が有名選手の映像等を交えながら解りやすく講義する特別授業です。スポーツマンシップとフェアプレー、そしてエコプレーへと生徒達も部活動などを通じて実践につなげていって欲しいという想いは、確実に伝わっていると感じており、今後も同校の体育の授業にて継続的に取り組みたいと考えています。



スポーツマンシップとエコ

### ・六本木Hillsエコ・ツアー

地元が一番身近でかつ象徴でもある「六本木ヒルズ」のエネルギー供給源の社会見学をクラブのメンバーの協力により開催しました。巨大なビルにおいて、どのようなシステムにより、電気や空調が供給されているのか、またエネルギーの削減効果や震災時における電気の供給体制がどのように取られているかを実際に見学することにより、環境保全についての認識を見直すきっかけを与えようとするもので、巨大ビルのエネルギー中枢に直にふれた生徒達の目の輝きが印象的でした。



六本木Hills'sエコ・ツアー

## ホームページリニューアルのお知らせ

創立五周年を記念し、東京六本木ロータリー・クラブの公式ホームページをリニューアルしました。より早く必要な情報へ、より見やすいページで…そして奉仕活動などのクラブの活動がよりわかり易く皆様にご覧頂けるよう、デザインと内容を一新しました。

<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>

(URLの変更はありません)



## これからの活動にむけて



本日は、ご多忙のところ私ども東京六本木ロータリークラブ創立五周年記念式典にご来臨賜り有難う御座いました。

東京西ロータリークラブの50周年記念事業として2004年11月22日に創立会員42名で例会場であるグランドハイアット東京に集まったのが昨日のように思い出されます。

当クラブ2期目の故水島会長年度に「環境シンポジウム」を開催いたし、今年度もまた山中会長のもとこのように盛大に「5周年記念式典」を開催できますのも、ひとえに佐藤特別代表は言うに及ばず山の手東グループ及び2750地区皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

山中会長年度も4ヶ月ほど残しておりますが、会長エレクト研修セミナー（P E T S）は私ども第2750地区では明日、明後日（3月2日、3日）の2日間予定されており、いよ

いよ10周年に向けての第一歩が始まります。

「これからの活動にむけて」ということですが、昨今の殺伐とした世相を鑑みまず取り組むべきことは、未来に向けて「夢と希望」を皆で持ち合いそして若者たちに与えられるクラブ作りではないでしょうか。

私ども東京六本木ロータリークラブは創立当初より「地域密着型」のクラブとして環境、教育に注力してまいりましたが、その継続はもちろんのことロータリークラブの原点である「奉仕」に皆様方と共に努めたいと思っております。その為には『四つのテスト』を実行し、楽しく語らい「東京六本木ロータリークラブの会員でよかったなあ」と皆が思えるクラブであり続け、10周年を迎えることができましたらこの上ない喜びであります。

各会員のご協力をいただきながら微力ではございますが今後とも東京六本木ロータリークラブの発展にお役に立てれば幸甚です。

宜しくご指導の程お願い申し上げます。

会長エレクト 篠塚 博

### 東京六本木ロータリー・クラブ

所属地区  
所属地域  
スポンサークラブ  
特別代表

国際ロータリー第2750地区  
港区・渋谷区  
東京西ロータリー・クラブ  
佐藤晃一  
1997～98年度東京西ロータリー・クラブ会長  
2004年11月22日  
2004年12月8日  
2005年1月24日

創 立  
RI加盟認証日  
認証伝達式

例会会場： グランドハイアット東京（TEL：03-4333-1234）  
例会日時： 毎週月曜日（祝日の時は休み）  
12：30～13：30

会 員 数： チャーターメンバー：42名（男性30名、女性12名）  
2010年3月1日現在：51名（男性38名、女性13名）

事 務 局： 〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3

グランドハイアット東京内

T E L：03-4333-8773

URL：http://www.tokyoroppongi-rc.jp/